

# 令和5年度 通常総会・資料

ながの環境パートナーシップ会議

日時: 令和5年6月 29 日(木)午後6時～

場所: 長野市ふれあい福祉センター5階大ホール

# ながの環境パートナーシップ会議通常総会次第

日時：令和5年6月29日

## 1 開 会

## 2 議 事

### 【第1号議案】

#### (1) 令和4年度活動報告について

- ①ながの環境パートナーシップ会議の活動概要 (P 1)
- ②プロジェクトチームの活動報告 (P 6)

プロジェクト名		R4 活動報告 ページ	R5 目標・活動 計画等 ページ
①	生ごみ削減・再生利用	7	25
②	市民の森づくり	8	26
③	太陽エネルギー普及促進	—	—
④	聖山自然復元	—	—
⑤	ながのカーボンオフセット	—	—
⑥	松代オオムラサキの里	9	27
⑦	生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全)	10	28
⑧	ゴマンジミ保護・育成	11	29
⑨	田中さくら公園作り&里山づくり	12	30

#### (2) 令和4年度収支決算報告について (P 13)

#### (3) 令和4年度監査報告について (P 20)

### 【第2号議案】

#### (1) アジェンダ21ながのの改正について (別添【案】参照)

### 【第3号議案】

#### (1) 令和5年度運営方針(案)について (P 21)

#### (2) 令和5年度活動目標・活動計画(案)について (P 24)

#### (3) 令和5年度収支予算(案)について (P 31)

### 【第4号議案】

#### (1) 会則、会費規程の改正について (P 32)

## 3 閉 会

## 令和4年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

### 活動の概要

令和4年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・実践する」を行動指針とし、プロジェクト、広報活動などに取り組みました。また、平成29年度に見直しを行った、本会の行動指針である「アジェンダ21ながの-環境行動計画-」に基づき、事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しましたが、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により活動に大きな影響がありました。

### 1 各プロジェクトの活動

#### (1) 令和4年度の各プロジェクトの取り組み

①	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	活動報告書のとおり
②	市民の森づくりプロジェクト	活動報告書のとおり
③	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	休会
④	聖山自然復元プロジェクト	休会 (R4.12をもって終了)
⑤	ながのカーボンオフセットプロジェクト	休会
⑥	松代オオムラサキの里プロジェクト	活動報告書のとおり
⑦	生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全) プロジェクト	活動報告書のとおり
⑧	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	活動報告書のとおり
⑨	田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト	活動報告書のとおり

#### (2) プロジェクトサポーター制度について

3つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

#### 【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合
松代オオムラサキの里	コマキ工業株式会社
生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全)	株式会社公害技術センター

#### (3) 信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の受け入れ

信州大学工学部の「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習Ⅰ」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、令和4年9月17日(土)には、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【受入チーム】生ごみ削減・再生利用プロジェクト、松代オオムラサキの里プロジェクト

## 2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

### (1) 令和4年度公開学習会

令和4年度は、『パートナーシップで環境活動をする』について共に考えましょう！』をテーマに公開学習会を開催しました。

【開催日時】2023(令和5)年2月26日(日) 14:00~16:15

【会場】長野市ふれあい福祉センター 5階大会議室

【主催】ながの環境パートナーシップ会議

【参加者数】35名

【プログラム】

14:00 開会・挨拶

14:10 発表1 日本無線株式会社 CSR推進部課長 坂本隆彦様

14:30 発表2 東京海上日動火災保険株式会社 長野支店営業課担当課長 田原伸洋様

14:50 発表3 長野県松代高等学校スポGOMI 甲子園出場チーム「オラ東京さ、いぐだ」  
樋口遼様、若林優輝様、森山陽太様

15:10 休憩

15:20 プロジェクトチーム活動報告

- ・生ごみ削減・再生利用
- ・松代オオムラサキの里
- ・ゴマシジミ保護・育成
- ・田中さくら公園づくり&里山づくり

15:45 意見交換会

16:15 閉会

【支援団体】実施に際し、長野市地球温暖化防止活動推進センターの支援をいただきました。

## 3 広報

### (1) ホームページの運用

- ・ イベント等の予定及び活動報告などを掲載

### (2) 令和3年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに令和2年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】表紙4P 本文16P 中綴じ仕上げ

【内容】ながの環境パートナーシップ会議の案内、活動成果報告、信州大学工学部地域環境演習報告

### (3) facebook の活用

facebook のページを作成し、会員以外の方にも情報発信を行いました。

## 4 他団体との連携

### (1) 活動の連携

#### 【生ごみ削減・再生利用プロジェクト】

長野市生活環境課と定例会にて協議フォロー、キッズ生ごみ農園のイベント補助等で協働しました。

#### 【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市開発公社と長野市霊園での保護活動で協働しました。

浅川小学校とワレモコウの育苗・植栽で協働しました。

### (2) 長野市環境子どもサミットに参加協力

子ども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境子どもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

なお、新型コロナウイルス感染対策のため、参加者の規模を縮小し、各団体のブース展示を取り止めたため、P会議としての参加はありませんでした。

【開催日時】 令和3年10月31日（日） 午前10時～正午

【場 所】 長野市勤労者女性会館しなのき

【参加者数】 1人（実行委員として）

### (3) 他の環境団体等への周知

令和3年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。

また、ながの環境フェア、信州環境フェアで活動紹介のパネル展示を行うなど環境活動をPRしました。

## 5 会議

### (1) 通常総会

日 時：令和4年7月4日（月）

内 容：令和3年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

令和4年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について

役員（理事・監事）の選任について

自由討議～今後のP会議の活性化に向けて～

### (2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を10回開催しました。

第3回、第10回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催しました。

回数	開催日時	参加者数	備考
第1回	6月23日（木）18:00～	7人	
第2回	8月12日（金）18:00～	5人	
第3回	9月29日（木）18:00～	8人	合同会議
第4回	10月28日（金）18:00～	5人	
第5回	11月21日（月）18:00～	5人	
第6回	12月22日（木）18:00～	5人	

第7回	1月19日(木)	18:00～	6人	
第8回	2月16日(木)	18:00～	5人	
臨時	3月15日(水)			書面開催
第9回	4月25日(火)	18:00～	5人	
第10回	5月29日(月)	18:00～	9人	合同会議

### (3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

## 6 市政等への参画

審議会等名称	会員名
長野市廃棄物減量等推進審議会委員 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員	河西 弘明
長野市環境審議会委員	赤羽 和春
長野県緑の基金理事	片桐 勝治
長野市環境こどもサミット実行委員会委員	小山 勝宏
長野市健康増進・食育推進審議会委員	小山 清子

## 7 その他

### (1) 寄附

令和5年1月16日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約80の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレットペーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレットペーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

【寄附金額】52,400円

### (2) 会員

令和5年5月末現在の会員数：134（令和4年5月末：148）

### (3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成25年度： 3,638人  
平成26年度： 3,566人  
平成27年度： 3,766人  
平成28年度： 4,112人  
平成29年度： 4,629人  
平成30年度： 4,842人  
令和元年度： 4,588人

令和2年度： 1,814人  
令和3年度： 1,805人  
令和4年度： 1,799人

令和4年度活動報告書

ながの環境パートナーシップ会議 [総括表]



ビジョン	山にみどり・川に清流・谷に風・空の星 自然と和して発展するまち・人の暮らし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの		
基本方針	環境問題に関わる人や団体を結び(つなぐ)、情報を共有する(伝える)し、共に活動(実践する)する役割を担うことにより、環境保全に向けたネットワークを築き、地球環境問題へと視野を広げながら、地域から地球規模に広がる環境保全活動を推進し、環境ビジョンの実現を目指していく。		
活動方針	①アジェンダの推進 ②協働の拡大と連携強化 ③広報ツールとして活動成果報告書「手をむすんで」を刊行 ④民間団体助成金の活用を推進		
実施プロジェクト等	① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト ② 市民の森づくりプロジェクト ③ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト ④ ながのカーボンオフセットプロジェクト ⑤ 松代オオムラサキの里プロジェクト ⑥ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト ⑦ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト ⑧ 田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	※会員数:17 会員数:18 会員数:6 会員数:1 会員数:34 会員数:1 会員数:4 会員数:10	
	※事業者・団体の会員数は1と数える。また、複数のプロジェクトに所属している者は両方で数えるので、全体の会員数とは一致しない。		
活動実績	実施期間	内容	人数
	R4.6~R5.5	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	543
	R4.6~R5.5	市民の森づくりプロジェクト	109
	R4.6~R5.5	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	-
	R4.6~R5.5	ながのカーボンオフセットプロジェクト	-
	R4.6~R5.5	松代オオムラサキの里プロジェクト	744
	R4.6~R5.5	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	154
	R4.6~R5.5	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト	1
	R4.6~R5.5	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	122
	R5.2.26	公開学習会	35
	R4.7.4	令和4年度通常総会	13
	R4.6~R5.5	理事会	60
	R2.6~R4.3	信州大学工学部 地域環境演習(学生数はプロジェクト報告に含む)	1
	R3.6~R4.3	長野市環境こどもサミット 実行委員会及び本番	6
R5.2	令和3年度活動成果報告書「手をむすんで」発行	-	
	一年間の活動・参加者数	1,799	
成果・課題	<<活動の成果>> ・プロジェクトの推進。 ・公開学習会の開催。 ・活動成果報告書「手をつないで」を発行し関係団体へのPRや新規会員の勧誘時等で活用した。 ・ホームページにバナー広告を掲載。また、facebookを利用した情報発信を行った。 <<今後の課題>> ・会員の減少、高齢化による活動力の低下が顕著となっていることから、新たな会員制度の実施や、情報発信機能の強化等を行うことで、事業者を含む新規会員の勧誘を促進し、活動の活性化につなげていきたい。	・令和5年5月末現在の会員数:134 うち個人:120、事業者・団体:28 (令和4年5月末現在の会員数:148) ・ながの環境パートナーシップ会議の活動への参画者 平成23年度: 4,116人 平成24年度: 4,176人 平成25年度: 3,638人 平成26年度: 3,566人 平成27年度: 3,766人 平成28年度: 4,112人 平成29年度: 4,629人 平成30年度: 4,842人 令和元年度: 4,588人 令和2年度: 1,814人 令和3年度: 1,805人 令和4年度: 1,799人	



令和4年度活動報告書		2年	12年	17年				
プロジェクト名	生ごみ削減・再生利用チーム							
理想の街	①市民一人ひとりが生ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち ②生ごみの大半がリサイクルされ再生利用システムの推進、可燃ごみが大幅に減少しているまち ③地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化と再資源化に取り組む地域循環型のまち これらの理想に向かって、日々牛歩のごとくゆっくりと歩いていくしかない。							
数値目標	①可燃ごみに占める生ごみの割合は、目標が35.0%2020年実績が38.0%(内食品ロス10%)である。 ②自治協主催の生ごみ減量講座参加人数が45名であった。 ③キッズ生ごみ農園クラブの年間家族会員数が18家族26名になった。 ④ミズコンポストと木枠の堆肥場により、生ごみ堆肥約5000を製造し農園の野菜作り等に活かした。							
行動計画	①生ごみ削減の啓蒙・啓発キャンペーンは、新型コロナウイルス対策のため展示・販売が1件できた。 ②市生活環境課とみどりの市民の協力による自治協主催の講習会を実施した。 ③「キッズ生ごみ農園クラブ」は、生ごみ堆肥を製造し野菜作りに活し会員に配布し、残りを子供食堂に無償提供した。 ④長和町の委託による生ごみ堆肥処理施設(くるりん共和化工監理)を視察した。小規模自治体による生ごみ回収と堆肥化のノウハウを学んだ。今後の生ごみ減量計画の参考にしたい。 ⑤東広島市と光商事の取り組みによるミズコンポストを使った生ごみ減量と環境教育を視察し、先進的な環境未来都市の実績を知り、キッズ生ごみ農園クラブのミズコンポストの方向性を確信した。							
活動計画	①地域の生ごみ減量啓蒙活動は、新型コロナウイルス対策のためアモーレフェスタの展示・販売のみ実施できた。 ②「生ごみ実践減量講座」は、安茂里自治協(25人参加うち学生5名)若槻自治協(20人参加)にて実施できた。 ③キッズ生ごみ農園クラブの会員は、日本無線の10口加入を含め家族数は26で、活動参加人数は延べ78人でした。 ④ミズコンポストと木枠の堆肥場により約5000製造したので、野菜等の栽培種も増やした。 ⑤信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の履修学生5名を受け入れ、生ごみ堆肥化講座やキッズ生ごみ農園クラブの活動に動員できた。							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	2~9	耕運作業、草取り、種まき、散水	8	11	1~6	玉ねぎ苗植付け、麦種まき	6
		11	安茂里自治協生ごみ堆肥化講座	29		10~22	大豆収穫、農器具片付けなど	6
		15	堆肥切り返し、籾掛け、野菜収穫	2		26	秋の収穫祭(大根)	27
		22~	耕運、草刈り、苗植付け	2	12	2~11	大豆脱穀、子供食堂に野菜提供	25
		26	麦刈り、玉ねぎ・ニンニクの収穫	32		15	長和町生ごみ堆肥化施設視察	6
		28~	散水、草取り作業など	6		17	銀座長野アンテナショップ訪問	2
	7	2	#2麦刈り、ジャガイモ掘り	21		19~29	大ハウスのパイプ補修、屋根シート取替え棚作り準備など	11
		5~9	耕運作業、草取り、支柱、追肥等	5				
		14~	麦刈りハゼ掛け、黒小豆支柱立て	12	1	9~22	倉庫整理、大ハウス修理など	14
		23	夏の収穫祭(ジャガイモ)	39		26	ライ麦製粉20kg	4
		24	若槻自治協生ごみ堆肥化講座	28	2	9~12	麦踏み、納豆作り	11
		25~5	ライ麦刈り、草取り、落穂ひろい	6		20	生ごみ堆肥の切り返し	1
	8	6~11	草取り、スイカ・マクワウリ収穫	9		23~	大ハウス入口改造と内部棚作り	
		18~22	麦脱穀、トウミ掛け	7		26	P会議イベント公開学習会に参加	3
		26~29	枝豆・ナス・耕運農作9業、草刈り	9	3	3~4	耕運作業、お祓い	11
	9	3~4	秋野菜種まき	6		27	耕運作業、畝作り、肥料作り	5
		7~10	耕運作業、種まき、移植など	4		30	資材運搬、果樹剪定	4
		17	信大地域環境演習Ⅰ発表	4	4	1	種ジャガイモ植付け	19
		17~27	耕運作業、野菜苗植付け、施肥	18		3~8	大ハウス北入口補修、枝豆育苗	2
	10	1~8	耕運作業、草取り、追肥、散水等	6		11	東広島市のミズプロジェクト視察	2
		9~23	草刈り、野菜収穫、追肥、散水等	15		17	種まき、信大ガイダンス	10
		25~	耕運作業、製穀、大根・菊芋収穫	10		20~29	耕運作業、草取り、苗植え替え	13
		30	アモーレフェスタ展示・販売	56	5	1~6	耕運作業、小ハウス組立など	6
						13	夏野菜植付けなど	21
績	一年間の活動・参加者数							543
成果課題	<p>〈活動の成果・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果としては、日本無線の10口加入により、家族会員の加入で幼少児の参加があり、生ごみ持参による早期からの環境教育が期待できる。それは、生ごみ堆肥の作製と共に農作物の栽培に活かすことを見て、育て、味わっていただけたことです。特にミズコンポスト1号機2号機ともに会員に親しまれ、出来た生ごみ堆肥を農園の利用だけでなく、自宅で利用する人にも提供できるようになり、食と農の循環システムが動き出しました。</li> <li>・一方で生ごみ堆肥化の啓蒙活動や収穫祭の参加者公募は新型コロナウイルス感染対策により限られ、新規会員の増員が見込めません。そこで、コロナ対策による自粛生活が内食の増加や食品ロス見直しにより、生ごみの減量に目を向けるために、どのような発信が有効かを考えることが必要です。特に我々高齢者が苦手なSNSやインターネットによる情報発信を信大生とどのようにコラボしたら良いかというのが課題です。</li> <li>・環境だけでなくSDGsの面から、生ごみ減量生活が持続可能な社会に繋がることを伝えたい。</li> </ul> <p>〈サポーター企業との活動〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため今年も特に活動は行えませんでした。</p>							
	長野市協力課等	取組内容						
	生活環境課	定例会にて協議フォロー、信州環境フェア・キッズ農園のイベント補助など						

令和4年度活動報告書



プロジェクト名

市民の森づくり


理想の街	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち							
数値目標	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに500人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする							
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりやの検討を重ねる。</li> <li>・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。</li> <li>・活動再開に当たっては、安全対策の再検討を実施、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。</li> </ul>							
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備(6～12月、4、5月)</li> <li>・秋の里山散策(10月)</li> <li>・工作体験、自然観察(8月、10月)</li> <li>・里山遊び(かんじき体験)(2月)</li> <li>・きのこの駒打ち体験(4月)</li> <li>・仮称第二の市民の森候補地の実施計画立案</li> <li>・事業者、他団体との協力、連携を図る</li> </ul>							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	7	3	市民の森総会	12				
		21	定例会議	8				
	9	1	定例会議	12				
	10	27	定例会議	6				
	11	26	市民の森臨時総会	13				
	2	12	製材小屋雪下ろし	3				
		20	定例会議	8				
	3	29	定例会議	4				
	4	8	森林整備作業	4				
		23	きのこの駒打ち	6				
		27	定例会議	9				
		30	森林整備作業(雨天中止)					
	5	13	森林整備作業	7				
	22	定例会議	7					
	28	森林整備作業(予定)	10					
績	一年間の活動・参加者数						109	
成果	<<活動の成果>> 前年度から継続の活動休止で、活動参加者の目標達成は出来なかったが、4月より活動再開となり一般市民の参加は取止めとしたものの、きのこの駒打ちの行事は実施した。							
課題	<<今後の課題>> ・活動再開に当たって、より一層安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業を進める。 活動参加者の固定化傾向にある中、更なる活動の広がりや、活動の多様性を考えると会員数の増加は必要である。活動内容の再検討、他のチーム等との協力など、活動の広がり、多様性については今後の検討課題とする。							
<<サポーター企業との活動>> なし								
長野市協力課等			取組内容					
森林いのしか対策課			森林整備、指導					

令和4年度活動報告書		15 緑の街づくり プロジェクト	17 自然観察道 プロジェクト																																																																																																																																																																
プロジェクト名	松代オオムラサキの里																																																																																																																																																																		
理想の街	オオムラサキの里(竹ノ入)の学習林としての環境整備を進めて30年近くになり、当初の目的に近づいてきた。各学校の総合学習、コミュニティスクールを通じて環境教育の啓発に学校から認められてきている。近隣の住民からも環境整備の応援を頂くようになった。オオムラサキ・ジャコウアゲハ・アサギマダラ・アゲハチョウなど随時観察できる環境になってきている。癒しの森として次世代につなげたい。																																																																																																																																																																		
数値目標	里山の生物全体の育成環境整備に努めカブトムシ・クワガタムシの発生を促す。また、フクロウの生息が確認できたので巣箱をかけて定着をはかる 自然観察道の整備を行い、自然観察の啓発活動の場として活用する。																																																																																																																																																																		
行動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 竹ノ入に生息する生物の調査用に設置したセンサーカメラの活用を継続して行う。</li> <li>2. カブトムシ・クワガタムシの育成床を設置し、育成環境を整備する。</li> <li>3. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設する。</li> <li>4. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。迷惑木、外来種のニワウルシの除伐をさらに進める。</li> <li>5. 各小学校に設置したオオムラサキ育成塔の整備を図り随時観察できる環境づくりをしてきた。子供たちが関心をもつような誘引施設の拡充と定着を図る。環境教育の原点はここにあると思う。</li> </ol>																																																																																																																																																																		
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オオムラサキ観察会の実施</li> <li>2. 竹ノ入に生息する生物の調査。</li> <li>3. カブトムシ・クワガタムシの育成床の設置。</li> <li>4. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設。</li> <li>5. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。</li> <li>6. 各小学校に設置したオオムラサキ育成棟の整備。</li> <li>7. 自然観察道の整備を行う。</li> </ol>																																																																																																																																																																		
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>3</td> <td>東条小学校他、飼育舎整備作業</td> <td>44</td> <td>11</td> <td>26</td> <td>テント撤収作業</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5</td> <td>竹ノ入 整備作業</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>幼虫調査</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10</td> <td>フジバカマ園整備</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>自然観察道設置作業</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>17</td> <td>オオムラサキ観察会準備</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>自然観察道設置作業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>19</td> <td>オオムラサキ観察会準備</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>自然観察道設置作業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>20</td> <td>東条小,西条小観察会</td> <td>67</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>クワガタ・フクロウ巣箱整備</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>21</td> <td>松代小,清野小観察会</td> <td>72</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>除伐木選定作業</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>28</td> <td>まきば保育園観察会</td> <td>45</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>除伐木選定作業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>30</td> <td>18区公民館観察会</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>26</td> <td>P会議総会出席</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>寺尾小,豊栄小観察会</td> <td>57</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>竹ノ入整備</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3</td> <td>一般市民対象観察会</td> <td>61</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>自然観察道設置作業</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>9</td> <td>柳原公民館/他 観察会</td> <td>59</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>エドヒガン植樹</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>16</td> <td>観察会反省会</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>20</td> <td>ビオトープ製作作業</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3</td> <td>小学校飼育舎整備</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>エドヒガン植樹</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>28</td> <td>定期総会準備</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>29</td> <td>まきば保育園エドヒガン観察会</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>17</td> <td>信州大学地域環境演習発表会</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>エドヒガン観察会</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>17</td> <td>定期総会</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>まきば保育園エドヒガン観察会</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2</td> <td>飼育ハウス整備</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>竹ノ入草刈り</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7</td> <td>長野市林務課 現地調査</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>飼育舎設置作業</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			月	日	内容	人数	月	日	内容	人数	6	3	東条小学校他、飼育舎整備作業	44	11	26	テント撤収作業	10	6	5	竹ノ入 整備作業	16	12	6	幼虫調査	21	6	10	フジバカマ園整備	11	1	5	自然観察道設置作業	4	6	17	オオムラサキ観察会準備	7	1	6	自然観察道設置作業	6	6	19	オオムラサキ観察会準備	6	1	7	自然観察道設置作業	6	6	20	東条小,西条小観察会	67	1	13	クワガタ・フクロウ巣箱整備	6	6	21	松代小,清野小観察会	72	2	4	除伐木選定作業	17	6	28	まきば保育園観察会	45	2	18	除伐木選定作業	6	6	30	18区公民館観察会	13	2	26	P会議総会出席	5	7	1	寺尾小,豊栄小観察会	57	3	4	竹ノ入整備	14	7	3	一般市民対象観察会	61	3	10	自然観察道設置作業	7	7	9	柳原公民館/他 観察会	59	3	14	エドヒガン植樹	11	7	16	観察会反省会	12	3	20	ビオトープ製作作業	4	8	3	小学校飼育舎整備	5	3	21	エドヒガン植樹	6	8	28	定期総会準備	7	3	29	まきば保育園エドヒガン観察会	30	9	17	信州大学地域環境演習発表会	2	4	1	エドヒガン観察会	18	9	17	定期総会	14	4	4	まきば保育園エドヒガン観察会	45	10	2	飼育ハウス整備	4	5	14	竹ノ入草刈り	16	11	7	長野市林務課 現地調査	5	5	20	飼育舎設置作業	5
月	日	内容	人数	月	日	内容	人数																																																																																																																																																												
6	3	東条小学校他、飼育舎整備作業	44	11	26	テント撤収作業	10																																																																																																																																																												
6	5	竹ノ入 整備作業	16	12	6	幼虫調査	21																																																																																																																																																												
6	10	フジバカマ園整備	11	1	5	自然観察道設置作業	4																																																																																																																																																												
6	17	オオムラサキ観察会準備	7	1	6	自然観察道設置作業	6																																																																																																																																																												
6	19	オオムラサキ観察会準備	6	1	7	自然観察道設置作業	6																																																																																																																																																												
6	20	東条小,西条小観察会	67	1	13	クワガタ・フクロウ巣箱整備	6																																																																																																																																																												
6	21	松代小,清野小観察会	72	2	4	除伐木選定作業	17																																																																																																																																																												
6	28	まきば保育園観察会	45	2	18	除伐木選定作業	6																																																																																																																																																												
6	30	18区公民館観察会	13	2	26	P会議総会出席	5																																																																																																																																																												
7	1	寺尾小,豊栄小観察会	57	3	4	竹ノ入整備	14																																																																																																																																																												
7	3	一般市民対象観察会	61	3	10	自然観察道設置作業	7																																																																																																																																																												
7	9	柳原公民館/他 観察会	59	3	14	エドヒガン植樹	11																																																																																																																																																												
7	16	観察会反省会	12	3	20	ビオトープ製作作業	4																																																																																																																																																												
8	3	小学校飼育舎整備	5	3	21	エドヒガン植樹	6																																																																																																																																																												
8	28	定期総会準備	7	3	29	まきば保育園エドヒガン観察会	30																																																																																																																																																												
9	17	信州大学地域環境演習発表会	2	4	1	エドヒガン観察会	18																																																																																																																																																												
9	17	定期総会	14	4	4	まきば保育園エドヒガン観察会	45																																																																																																																																																												
10	2	飼育ハウス整備	4	5	14	竹ノ入草刈り	16																																																																																																																																																												
11	7	長野市林務課 現地調査	5	5	20	飼育舎設置作業	5																																																																																																																																																												
績	一年間の活動・参加者数		744																																																																																																																																																																
成果課題	<p>《活動の成果・課題》</p> <p>学校が総合学習・コミュニティスクールの時間で利用して頂けるようになった。近くのまきば保育園が随時園内に入り利用していただけるようになり自然保護教育の一助になってきている。</p> <p>フクロウの巣を設置したが、未だ営巣には至らない。引き続き整備を行う。</p> <p>自然観察を安全・安心に行える森作りとして、自然観察道の製作に取り掛かった。自然観察道の活用方法についても検討を行う。</p> <p>高齢者集団の中に若い集団が参画しやすい組織のありかた、雰囲気作りに取り組む遊び心が必要である。</p>																																																																																																																																																																		
《サポーター企業との活動》																																																																																																																																																																			
長野市協力課等	取組内容																																																																																																																																																																		



令和4年度活動報告書		15 緑の未来 のまちづくり	17 自然環境 の持続可能なまちづくり					
プロジェクト名	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト							
理想の街	「元気なふるさと浅川を創生する」を目標に、浅川地区での地域資源の見直しと地域住民の意識の高揚を図り、地域活動への参画意欲を高めるため、浅川地区まちづくり計画を策定し、現在、各種事業を展開している。その事業の一環として地区内に生息が確認されている県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の保護・育成活動を地域住民と協働で実施し、「ふるさとの魅力を自然の豊かさで体験できる環境整備」の推進を図っていく。また、ゴマシジミ情報をより広く発信していきたい。							
数値目標	行事数 4 参加人数 70名							
行動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温暖化による絶滅危惧種ゴマシジミの絶滅防止のための、保護・育成対策</li> <li>2. 自然環境の見直しと、さらなる環境の向上(ワレモコウの増殖)</li> <li>3. 人的な環境破壊の防止と対策(密猟者、現地環境変化への対応)</li> <li>4. ゴマシジミ生息の重要性のアピールと保護活動の維持</li> </ol>							
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保護地区での密猟者対策として、早朝パトロールの実施</li> <li>2. 浅川小学校児童・先生への啓発活動 児童へ ワレモコウの育成、ゴマシジミの紙芝居上演、遠足による現地視察 先生へ 講師によるゴマシジミ説明会</li> <li>3. 保護地区へのワレモコウ移植</li> </ol>							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	8	16	密猟者のパトロール開始～	22				
	9	2	密猟者のパトロール終了					
					8	31	県自然保護課との現状ミーティング	8
	9	20	浅川小学校先生への説明会	15				
	10	5	浅川小学校児童へ紙芝居上演	55				
	10	5	校内花壇のワレモコウ移植作業					
	11	4	浅川小学校 遠足で現地見学視察	54				
実績	一年間の活動・参加者数							154
成果課題	<<活動の成果・課題>> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 絶滅危惧種ゴマシジミの生息情報は、一般市民にはあまり知られていない</li> <li>2. ゴマシジミ生息、繁殖に対する対策は、手探りな状態である</li> <li>3. 絶滅危惧種指定のゴマシジミの保護育成の具体的な計画が必要</li> <li>4. メジャー的に知られる必要性と保護活動員の確保。</li> <li>5. 知られるが故、密猟者や観察者による、現地の環境の破壊も心配</li> </ol>							
<<サポーター企業との活動>>								
長野市協力課等	取組内容							
長野市開発公社	長野市霊園での保護活動							
浅川小学校	ワレモコウの育苗・植栽							



令和4年度活動報告書								
プロジェクト名		田中桜公園作り&里山づくりプロジェクト				 		
理想の街	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合う地域・まち							
数値目標	参加目標180名（前期）①散策路整備橋＝造り4年計画 ②花壇・花木の充実③R5年度東屋建設計画推進・資金申請(後期)④桜公園拡大計画検討⑤桜公園「広場」づくりの推進 以上の当初の目標を変更しコロナ禍での、地域他団体の活動自粛も考慮して4年度当初の上記数値目標を変更。①公園の下草刈りを定期的〔1ヶ月1度〕に行う。延べ36人②コロナ禍でも桜公園祭りをを行う。60人参加目標							
行動計画	①下草刈りで公園の環境整備月1回乗用草刈り機、ビーバー ②桜公園祭り準備協議、たよりの全戸配布、準備作業							
活動計画	①下草刈り役員による作業6月～10月（月1回から2回）							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	4	草刈り	4	4	16	桜公園祭り当日	48
		18	草刈り	4		17	後片付け・返却作業	6
	7	2	草刈り	3				
		16	草刈り	5				
	8	6	草刈り	3				
	9	3	草刈り	4				
	10	8	草刈り	4				
	1	16	桜公園祭り協議	4				
	2	13	桜公園祭り協議	4				
	3	13	桜公園祭り協議	4				
		27	チラシ作成配布	2				
	4	8	桜公園祭り準備作業	7				
		9	桜公園祭り諸準備・手配	5				
		10	諸準備	5				
	15	前日準備	10					
実績	一年間の活動・参加者数						122	
成果・課題	<p>《活動の成果・課題》コロナ禍の中で地区他団体の活動自粛で交流が無い中、いつでも公園を散策できるように管理を続けたこと。また、桜公園祭りは、交流や春の楽しみの行事として外に出て積極的に体を動かす楽しさを味わうものとなった。</p> <p>〔課題〕そうはいつでも、コロナ禍での活動は限られてきたので、コロナ禍も収束する来年度計画では、お互い持っている構想・夢などを出し合い、計画化していくことが大切と考える。</p>							
《サポーター企業との活動》今年度出来なかったのが、来年度はサポーター企業と協議の場を持ちたい。								
長野市協力課等			取組内容					

令和4年度 ながの環境パートナーシップ会議 収支決算書

収入合計 2,041,063 円

支出合計 1,343,230 円

差引額 697,833 円

収 入 単位:円

内 容	4年度予算額	流用額	予算現額	収入済額	収入済額-予算現額	主 内 訳
<b>I 負担金・会費</b>	1,080,000		1,080,000	1,191,500	111,500	
1 負担金・会費	1,080,000		1,080,000	1,191,500	111,500	長野市負担金1,000,000円、会費
<b>II 事業収入等</b>	95,000		95,000	97,409	2,409	
1 事業収入	45,000		45,000	45,000	0	パートナー広告料
2 雑収入	50,000		50,000	52,409	2,409	寄付金、預金利息
3 助成金	0		0	0	0	
<b>III 繰越金</b>	752,154		752,154	752,154	0	
1 繰越金	752,154		752,154	752,154	0	
<b>合 計</b>	<b>1,927,154</b>	<b>0</b>	<b>1,927,154</b>	<b>2,041,063</b>	<b>113,909</b>	

支 出 単位:円

内 容	4年度予算額	流用額	予算現額	支出済額	予算現額-支出済額	主 内 訳
<b>I 活動費</b>	75,000	0	75,000	3,000	72,000	
1 自主事業活動費	60,000	0	60,000	0	60,000	
2 共催・参加事業活動費	15,000	0	15,000	3,000	12,000	長野エコ活動推進本部
<b>II プロジェクト活動費</b>	1,079,000	223,485	1,302,485	1,210,623	91,862	
1 生ごみ削減・再生利用	359,000	0	359,000	359,000	0	
2 市民の森づくり	250,000	0	250,000	249,654	346	
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	0	
4 聖山自然復元(R4.12終了)	0	0	0	0	0	
5 子どもの環境学習支援(R4.6終了)	0	0	0	0	0	
6 ながのカーボンオフセット	0		0	0	0	
7 松代オオムラサキの里	370,000	223,485	593,485	593,485	0	
8 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	30,000	0	30,000	0	30,000	
9 ゴマシジミ保護・育成	0	0	0	0	0	
10 田中さくら公園作り&里山づくり	20,000	0	20,000	8,484	11,516	
11 新規プロジェクト	50,000	0	50,000	0	50,000	
<b>III 保険料</b>	49,000	0	49,000	40,250	8,750	
1 保険料	49,000	0	49,000	40,250	8,750	ボランティア活動保険料
<b>IV 広報費</b>	325,000	0	325,000	41,636	283,364	
1 啓発・報告書等費	300,000	0	300,000	33,030	266,970	新聞広告掲載料
2 ホームページ維持費	25,000	0	25,000	8,606	16,394	ホームページサーバー利用料
<b>V 事務局費</b>	85,000	0	85,000	47,721	37,279	
1 事務局運営費	85,000	0	85,000	47,721	37,279	振込手数料等
<b>VI 予備費</b>	314,154	-223,485	90,669	0	90,669	
1 予備費	314,154	-223,485	90,669	0	90,669	
2 助成金	0	0	0	0	0	
<b>合 計</b>	<b>1,927,154</b>	<b>0</b>	<b>1,927,154</b>	<b>1,343,230</b>	<b>583,924</b>	

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額	差引額
1	R4.6.2	301	繰越金	令和3年度繰越金	752,154		752,154
2	R4.6.3	801	事務局運営費	総会送付用はがき代		8,820	743,334
3	R4.6.3	801	事務局運営費	総会通知等郵送代		12,878	730,456
4	R4.6.6	801	事務局運営費	総会通知等郵送代 戻入		△ 1,240	731,696
5	R4.6.13	101	負担金・会費	会費:小林 清一 R4年度分	500		732,196
6	R4.6.13	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		5,568	726,628
7	R4.6.20	101	負担金・会費	会費:長谷部 好紀 R4年度分	1,000		727,628
8	R4.6.28	101	負担金・会費	会費:金井 三平 R3、4年度分	1,000		728,628
9	R4.6.28	201	事業収入	バナー広告掲載料(イコールゼロ株式会社)	15,000		743,628
10	R4.6.30	201	事業収入	バナー広告掲載料(株式会社ハウスプラザ信越)	15,000		758,628
11	R4.7.4	201	事業収入	バナー広告掲載料(日本無線株式会社)	15,000		773,628
12	R4.7.13	101	負担金・会費	会費:佐藤敏夫、小山清子 R4年度分	1,000		774,628
13	R4.8.1	101	負担金・会費	会費:河西 弘明 他 計5名 R4年度分	2,500		777,128
14	R4.8.1	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分		179,500	597,628
15	R4.8.3	801	事務局運営費	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分 振込手数料		880	596,748
16	R4.8.6	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 前期分		185,000	411,748
17	R4.8.8	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分		125,000	286,748
18	R4.8.12	101	負担金・会費	長野市負担金	1,000,000		1,286,748
19	R4.8.15	801	事務局運営費	総会結果通知はがき代		3,843	1,282,905
20	R4.8.22	202	雑収入	預金利息	4		1,282,909
21	R4.8.19	402	共催・参加事業活動費	令和4年度長野エコ活動推進本部年会費		3,000	1,279,909
22	R4.8.22	801	事務局運営費	令和4年度長野エコ活動推進本部年会費 振込手数料		330	1,279,579
23	R4.8.19	801	事務局運営費	会費納入依頼郵送代		1,176	1,278,403
24	R4.8.25	101	負担金・会費	会費:金児 和彦 R3、4年度分	1,000		1,279,403
25	R4.8.26	101	負担金・会費	会費:井上 隆文 R4年度分	3,000		1,282,403
26	R4.8.26	101	負担金・会費	会費:普光寺 R4年度分	500		1,282,903
27	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:山口 泰弘 R3、R4年度分	1,000		1,283,903
28	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:宮沢 博 R3、R4年度分	1,000		1,284,903
29	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:海沼 健一 R4年度分	500		1,285,403
30	R4.8.30	101	負担金・会費	会費:新井 清規 R2~4年度分	1,500		1,286,903
31	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:長野県NPOセンター R4年度分	500		1,287,403
32	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:長野卸売市場協同組合 R4年度分	500		1,287,903
33	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:宝資源開発 R3、4年度分	1,000		1,288,903
34	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:榮光 R3、4年度分	1,000		1,289,903
35	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:ケー・アンド・エフコンピューターサービス R4年度分	1,000		1,290,903
36	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:木下 雅裕 他 計3名 R4年度分	2,500		1,293,403
37	R4.9.1	101	負担金・会費	会費:ゆうちよ振込分 計5名	3,000		1,296,403
38	R4.9.1	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R3年度分	500		1,296,903
39	R4.9.2	101	負担金・会費	会費:天空の里 いもい農場 R4年度分	500		1,297,403
40	R4.9.7	101	負担金・会費	会費:高橋 正直 R3、4年度分	1,000		1,298,403
41	R4.9.9	101	負担金・会費	会費:生活協同組合コープながの R4年度分	500		1,298,903
42	R4.9.14	101	負担金・会費	会費:宮尾 恒夫 R2~4年度分	1,500		1,300,403
43	R4.9.20	101	負担金・会費	会費:松代金属株式会社 R4年度分	2,000		1,302,403
44	R4.9.29	101	負担金・会費	会費:渡辺 隆一 R3年度分	500		1,302,903
45	R4.9.30	101	負担金・会費	会費:東京海上日動火災保険株式会社 R4年度分	500		1,303,403
46	R4.9.30	101	負担金・会費	会費:ゆうちよ振込分 計2名	1,500		1,304,903
47	R4.10.7	101	負担金・会費	会費:寺沢 さゆり R3、4年度分	1,000		1,305,903
48	R4.10.11	101	負担金・会費	会費:塚田 郭敏 R3、4年度分	1,000		1,306,903
49	R4.10.20	101	負担金・会費	会費:松代オオムラサキの里 計34名 R4年度分	17,000		1,323,903
50	R4.11.1	101	負担金・会費	会費:酒井今朝重、宮沢直志 R4年度分	1,000		1,324,903
51	R4.11.8	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分		125,000	1,199,903
52	R4.11.15	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 後期分		185,000	1,014,903



単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額	差引額
53	R4.11.28	101	負担金・会費	会費:NPO法人みどりの市民 他 計4名	3,000		1,017,903
54	R4.11.29	601	保険料	令和4年度ボランティア活動保険料 途中加入者5名分		1,750	1,016,153
55	R4.12.5	101	負担金・会費	会費:関口 寿宏 R3、4年度分	1,000		1,017,153
56	R4.12.20	101	負担金・会費	会費:浅川地区住民自治協議会 R4年度分	500		1,017,653
57	R5.1.4	101	負担金・会費	会費:田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト 計10名 R3、4年度分	10,000		1,027,653
58	R5.1.11	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 後期分		179,500	848,153
59	R5.1.12	801	事務局運営費	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 後期分 振込手数料		880	847,273
60	R5.1.26	202	雑収入	長野卸売市場協同組合 寄附金	52,400		899,673
61	R5.1.24	801	事務局運営費	公開学習会郵送代		5,292	894,381
62	R5.2.6	801	事務局運営費	会費納入再依頼郵送代		1,512	892,869
63	R5.2.10	101	負担金・会費	会費:市民の森づくりプロジェクト 計17名 R4年分	8,500		901,369
64	R5.2.10	101	負担金・会費	会費:小山 勝宏 R4年分	500		901,869
65	R5.2.14	101	負担金・会費	会費:NPO法人信州フォレストネットワーク R4年分	500		902,369
66	R5.2.14	101	負担金・会費	会費:共同設備、宮沢木材産業 R4年分	1,000		903,369
67	R5.2.15	101	負担金・会費	会費:長野商工会議所 R3、4年分	1,000		904,369
68	R5.2.16	101	負担金・会費	会費:北澤 知佐 R3、4年分	1,000		905,369
69	R5.2.16	101	負担金・会費	会費:北原 宗子 R4年分	500		905,869
70	R5.2.17	101	負担金・会費	会費:NPO法人フードバンク信州 R1~4年分	2,000		907,869
71	R5.2.18	101	負担金・会費	会費:小松 裕 R4年分	1,000		908,869
72	R5.2.20	202	雑収入	預金利息	5		908,874
73	R5.2.22	101	負担金・会費	会費:佐藤 雅弘 R3、5年分	1,000		909,874
74	R5.2.22	101	負担金・会費	会費:松澤 忠幸 R3、4年分	1,000		910,874
75	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R4年分	500		911,374
76	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:木下 恵美子 R1~4年分	2,000		913,374
77	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:小林 長人 R3、4年分	1,000		914,374
78	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:長田 健一 R4年分	500		914,874
79	R5.3.7	701	啓発・報告書等費	令和3年度成果報告書郵送代		13,230	901,644
80	R5.3.15	101	負担金・会費	会費:坂西 昭 R3、4年分、吉澤 剛 R4年分	1,500		903,144
81	R5.3.15	101	負担金・会費	会費:轟 光昌 R4年分	1,000		904,144
82	R5.3.28	601	保険料	R5年度ボランティア活動保険料		38,500	865,644
83	R5.4.1	101	負担金・会費	会費:日本無線株式会社	100,000		965,644
84	R5.4.13	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		3,038	962,606
85	R5.4.26	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 追加交付分		223,485	739,121
86	R5.5.8	701	啓発・報告書等費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料		19,800	719,321
87	R5.5.9	801	事務局運営費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料 振込手数料		330	718,991
88	R5.5.18	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 精算		△ 346	719,337
89	R5.5.24	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 精算		0	719,337
90	R5.5.29	510	田中さくら公園作り&里山づくり	田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト活動費 精算		8,484	710,853
91	R5.5.29	801	事務局運営費	アジェンダ(案)会員郵送用切手代		13,020	697,833
92	R5.5.29	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 精算		0	697,833
				合 計	2,041,063	1,343,230	697,833

## 項目別 差引簿(R4)

## 負担金・会費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
5	R4.6.13	101	負担金・会費	会費:小林 清一 R4年度分	500	
7	R4.6.20	101	負担金・会費	会費:長谷部 好紀 R4年度分	1,000	
8	R4.6.28	101	負担金・会費	会費:金井 三平 R3、4年度分	1,000	
12	R4.7.13	101	負担金・会費	会費:佐藤敏夫、小山清子 R4年度分	1,000	
13	R4.8.1	101	負担金・会費	会費:河西 弘明 他 計5名 R4年度分	2,500	
18	R4.8.12	101	負担金・会費	長野市負担金	1,000,000	
24	R4.8.25	101	負担金・会費	会費:金児 和彦 R3、4年度分	1,000	
25	R4.8.26	101	負担金・会費	会費:井上 隆文 R4年度分	3,000	
26	R4.8.26	101	負担金・会費	会費:普光寺 R4年度分	500	
27	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:山口 泰弘 R3、R4年度分	1,000	
28	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:宮沢 博 R3、R4年度分	1,000	
29	R4.8.29	101	負担金・会費	会費:海沼 健一 R4年度分	500	
30	R4.8.30	101	負担金・会費	会費:新井 清規 R2~4年度分	1,500	
31	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:長野県NPOセンター R4年度分	500	
32	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:長野卸売市場協同組合 R4年度分	500	
33	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:宝資源開発 R3、4年度分	1,000	
34	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:榮光 R3、4年度分	1,000	
35	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:ケー・アンド・エフコンピューターサービス R4年度分	1,000	
36	R4.8.31	101	負担金・会費	会費:木下 雅裕 他 計3名 R4年度分	2,500	
37	R4.9.1	101	負担金・会費	会費:ゆうちよ振込分 計5名	3,000	
38	R4.9.1	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R3年度分	500	
39	R4.9.2	101	負担金・会費	会費:天空の里 いもい農場 R4年度分	500	
40	R4.9.7	101	負担金・会費	会費:高橋 正直 R3、4年度分	1,000	
41	R4.9.9	101	負担金・会費	会費:生活協同組合コープながの R4年度分	500	
42	R4.9.14	101	負担金・会費	会費:宮尾 恒夫 R2~4年度分	1,500	
43	R4.9.20	101	負担金・会費	会費:松代金属株式会社 R4年度分	2,000	
44	R4.9.29	101	負担金・会費	会費:渡辺 隆一 R3年度分	500	
45	R4.9.30	101	負担金・会費	会費:東京海上日動火災保険株式会社 R4年度分	500	
46	R4.9.30	101	負担金・会費	会費:ゆうちよ振込分 計2名	1,500	
47	R4.10.7	101	負担金・会費	会費:寺沢 さゆり R3、4年度分	1,000	
48	R4.10.11	101	負担金・会費	会費:塚田 郭敏 R3、4年度分	1,000	
49	R4.10.20	101	負担金・会費	会費:松代オオムラサキの里 計34名 R4年度分	17,000	
50	R4.11.1	101	負担金・会費	会費:酒井今朝重、宮沢直志 R4年度分	1,000	
53	R4.11.28	101	負担金・会費	会費:NPO法人みどりの市民 他 計4名	3,000	
55	R4.12.5	101	負担金・会費	会費:関口 寿宏 R3、4年度分	1,000	
56	R4.12.20	101	負担金・会費	会費:浅川地区住民自治協議会 R4年度分	500	
57	R5.1.4	101	負担金・会費	会費:田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト 計10名 R3、4年度分	10,000	
63	R5.2.10	101	負担金・会費	会費:市民の森づくりプロジェクト 計17名 R4年分	8,500	
64	R5.2.10	101	負担金・会費	会費:小山 勝宏 R4年分	500	
65	R5.2.14	101	負担金・会費	会費:NPO法人信州フォレストネットワーク R4年分	500	
66	R5.2.14	101	負担金・会費	会費:共同設備、宮沢木材産業 R4年分	1,000	

## 項目別 差引簿 (R4)

67	R5.2.15	101	負担金・会費	会費:長野商工会議所 R3、4年分	1,000	
68	R5.2.16	101	負担金・会費	会費:北澤 知佐 R3、4年分	1,000	
69	R5.2.16	101	負担金・会費	会費:北原 宗子 R4年分	500	
70	R5.2.17	101	負担金・会費	会費:NPO法人フードバンク信州 R1~4年分	2,000	
71	R5.2.18	101	負担金・会費	会費:小松 裕 R4年分	1,000	
73	R5.2.22	101	負担金・会費	会費:佐藤 雅弘 R3、5年分	1,000	
74	R5.2.22	101	負担金・会費	会費:松澤 忠幸 R3、4年分	1,000	
75	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R4年分	500	
76	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:木下 恵美子 R1~4年分	2,000	
77	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:小林 長人 R3、4年分	1,000	
78	R5.2.27	101	負担金・会費	会費:長田 健一 R4年分	500	
80	R5.3.15	101	負担金・会費	会費:坂西 昭 R3、4年分、吉澤 剛 R4年分	1,500	
81	R5.3.15	101	負担金・会費	会費:轟 光昌 R4年分	1,000	
83	R5.4.1	101	負担金・会費	会費:日本無線株式会社	100,000	
小計					1,191,500	-

## 事業収入

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額
9	R4.6.28	201	事業収入	バナー広告掲載料(イコールゼロ株式会社)	15,000	
10	R4.6.30	201	事業収入	バナー広告掲載料(株式会社ハウスプラザ信越)	15,000	
11	R4.7.4	201	事業収入	バナー広告掲載料(日本無線株式会社)	15,000	
小計					45,000	-

## 雑収入

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額
20	R4.8.22	202	雑収入	預金利息	4	
60	R5.1.26	202	雑収入	長野卸売市場協同組合 寄附金	52,400	
72	R5.2.20	202	雑収入	預金利息	5	
小計					52,409	-

## 繰越金

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額
1	R4.6.2	301	繰越金	令和3年度繰越金	752,154	
小計					752,154	-

## 項目別 差引簿 (R4)

## 共催・参加事業活動費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
21	R4.8.19	402	共催・参加事業活動費	令和4年度長野エコ活動推進本部年会費		3,000
小計					-	3,000

## 生ごみ削減・再生利用

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
14	R4.8.1	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分		179,500
58	R5.1.11	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 後期分		179,500
89	R5.5.24	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 精算		0
小計					-	359,000

## 市民の森づくり

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
17	R4.8.8	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分		125,000
51	R4.11.8	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分		125,000
88	R5.5.18	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 精算		△ 346
小計					-	249,654

## 松代オオムラサキの里

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
16	R4.8.6	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 前期分		185,000
52	R4.11.15	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 後期分		185,000
85	R5.4.26	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 追加交付分		223,485
92	R5.5.31	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 精算		0
小計					-	593,485

## 田中さくら公園作り&amp;里山づくり

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
90	R5.5.29	510	田中さくら公園作り&里山づくり	田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト活動費 精算		8,484
小計					-	8,484

## 保険料

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
54	R4.11.29	601	保険料	令和4年度ボランティア活動保険料 途中加入者5名分		1,750
83	R5.3.29	602	保険料	R5年度ボランティア活動保険料		38,500
小計					-	40,250

## 啓発・報告書等費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
79	R5.3.7	701	啓発・報告書等費	令和3年度成果報告書郵送代		13,230
86	R5.5.8	701	啓発・報告書等費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料		19,800
小計					-	33,030

## 項目別 差引簿(R4)

## ホームページ維持費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
6	R4.6.13	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		5,568
84	R5.4.13	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		3,038
小計					-	8,606

## 事務局運営費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
2	R4.6.3	801	事務局運営費	総会送付用はがき代		8,820
3	R4.6.3	801	事務局運営費	総会通知等郵送代		12,878
4	R4.6.6	801	事務局運営費	総会通知等郵送代 戻入		△ 1,240
15	R4.8.3	801	事務局運営費	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分 手数料		880
19	R4.8.15	801	事務局運営費	総会結果通知はがき代		3,843
22	R4.8.22	801	事務局運営費	令和4年度長野エコ活動推進本部年会費 手数料		330
23	R4.8.19	801	事務局運営費	会費納入依頼郵送代		1,176
59	R5.1.12	801	事務局運営費	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分 手数料		880
61	R5.1.24	801	事務局運営費	公開学習会郵送代		5,292
62	R5.2.6	801	事務局運営費	会費納入再依頼郵送代		1,512
87	R5.5.9	801	事務局運営費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料 手数料		330
91	R5.5.29	801	事務局運営費	アジェンダ(案)会員郵送用切手代		13,020
		801				
		801				
小計					-	47,721

# 監査報告書

令和5年5月31日

ながの環境パートナーシップ会議

代表理事 河西 弘明 様

ながの環境パートナーシップ会議

監事 小山 勝宏



監事 小林 清一



私たちは、令和4年6月4日から令和5年5月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて収支決算書及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 収支計算書及びその附属明細書は、令和4年度の収支状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 財産目録の内容は真実であると認める。
- (3) 事業報告書及びその附属明細書の内容は真実であると認める。
- (4) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事項はないと認める。

以上

## 令和5(2023)年度運営方針(案)

ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 河西 弘明

ながの環境パートナーシップ会議(以下「P会議」という)は、「アジェンダ21ながの-環境行動計画-2023」(以下「アジェンダ21ながの」という)に掲げる長野市の環境ビジョン『山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの』の実現に向けて行動します。

令和4(2022)年度は、世界がよりよい未来を迎えるために果たす目標として、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)※」(以下「SDGs」という)の達成を地域からパートナーシップで実現するため、P会議及び各プロジェクトチームがSDGs達成への貢献を意識しながら環境活動を推進しました。しかし、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により活動が困難だった年でもありました。

令和5(2023)年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となり、コロナ前の社会活動を取り戻していく1年となります。私達も、これ以上活動を停滞させないために、組織の在り方を一から見直し、P会議が長野市の環境活動のプラットフォームとなるために、必要な改革に取り組みます。

そのために、事業者との連携をさらに深めるとともに、活動成果報告書やホームページ、SNSなどの広報ツールを活用し、新規会員を確保することで、P会議の活性化を更に進めていきます。

私達は、これまで以上に市民・事業者・行政との協働を拡大させ、地域の豊かな環境を持続させるため、「つなぐ・伝える・実践する」活動に取り組みます。

### (1) P会議とプロジェクトチームの環境活動の充実を図ります(実践する)

「アジェンダ21ながの」の趣旨に沿った活動に取り組む外部団体・事業者との共催や参加などを通じ、協働の拡大を図ります。

#### ①プロジェクトチームの充実・拡大

既存のプロジェクトチームによる活動のより一層の充実を図るとともに、自由な発想で楽しみながら取り組める環境活動の提案を積極的に受け入れ、P会議の新規プロジェクトとして立ち上げていくなど組織の拡充を図ります。

#### ②ボランティア活動を安心して取り組める環境整備

ボランティア活動により安心して取り組むことができるよう、各プロジェクトチームが加入している保険の見直しや強化を促進します。

#### ③企業によるCSR活動との連携強化

企業による社会貢献活動が一般化した現代において、こうした活動との連携の重要性が高まっています。企業とP会議の連携を強化し、一体となって環境活動を進めていくため、独自で取り組まれている企業が参画できる体制を構築し、企業とP会議の相互にメリットが生まれる環境を目指します。

#### ④他団体との共催・参加・支援

各団体との共催や環境活動へ参加及び支援を通じて、若い世代や市民・事業者などにP会議の活動を広く発信し、協働による活動の参加を呼び掛けます。

(例) ながの環境フェア、信州環境フェア、長野市環境こどもサミット、信州大学地域環境演習など

#### ⑤主催事業の開催

一昨年まで開催していた「ながの環境団体大集合」や、前年度に開催した公開学習会など、これまでの主催事業について改めて検討し、プロジェクトチームはもちろん、団体、事業者、学校、行政等が取り組む様々な環境活動を「つなぐ・伝える・実践する」場として、各団体の活動の相互理解が推進され、更には、新規会員の入会につながるよう、充実した主催事業を展開します。

### (2) ながの環境パートナーシップ会議の活動を広く発信します (伝える)

これまで以上にインターネット等を活用し、「P会議の価値を向上させる」情報発信に取り組みます。

#### ①P会議の活動の積極的発信

P会議及びプロジェクトチームの活動状況と成果を活動成果報告書「手をむすんで」にまとめ、P会議の活動をより積極的にアピールします。また、ホームページなどに加えて、SNSを活用し、市民・事業者・団体などに広く情報発信を行い、環境意識の啓発に努めるとともに新規会員の入会につなげます。

#### ②環境活動に関する情報拠点化

長野市の環境活動のプラットフォームを目指し、P会議のホームページでプロジェクトチームの活動や企業が独自に取り組んでいる活動など環境活動に関する情報発信の仕組みを構築します。また、P会議が長野市全体の環境活動の情報拠点となり、様々なつながりが生まれ、より充実した活動が広がることを目指します。

### (3) 次世代につながり成果の見える活動を行います (つなぐ)

目標である長野市の環境ビジョンの実現に向けた活動を強化するため、団体や事業者との協働の拡大を図るとともに、世代をつないだ活動基盤を構築するため、特に次世代の若者との協働による活動を進めます。

#### ①仲間づくりの推進と会員の増員に向けて

充実した環境活動を行っていくためには、市民・事業者・専門家・若者など、多様な知見・能力を有している方々の集積が必要です。会員・プロジェクトチー



ム・理事会が協力し、また、それぞれの立場で次世代の仲間づくりを進めるとともに、会員の増員を図ります。

## ※【 参 考 】

### SDGsとは…

2015年(平成27年)9月、国連において、新たなアジェンダとして「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人類の発展や地球の繁栄のため2030年までに達成すべき行動計画として、宣言と目標を掲げたものです。

この目標が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals 略してSDGs(エスディーゼーズ))」であり、これまでのアジェンダ21やミレニアム開発目標(MDGs)などの理念と成果を土台に、豊かさを追求しながら地球を守ることを呼びかける17の目標と169の行動計画で構成され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途上国を含めた全ての国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。



◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書(案)

	ながの環境パートナーシップ会議(事務局)							
理想の街 (目指す姿)	山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの							
R5	目標・数値目標			行動計画				
	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新アジェンダの推進、進捗管理</li> <li>・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。</li> <li>・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進</li> <li>・新規会員の入会促進</li> </ul>				
R6	目標・数値目標			行動計画				
	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新アジェンダの推進、進捗管理</li> <li>・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。</li> <li>・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進</li> <li>・新規会員の入会促進</li> </ul>				
R7	目標・数値目標			行動計画				
	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新アジェンダの推進、進捗管理</li> <li>・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。</li> <li>・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進</li> <li>・新規会員の入会促進</li> </ul>				
数値目標 (長期)	環境保全活動参加者数:4,000人(第3次長野市環境基本計画 R8目標値)			令和5年度目標活動参加人数				
				4,000人				
(支出の部)								
	区 分		実施予定	予算額	内 訳		金額:円	
本年度活動計画	A	活動費	未定	53,000	1. 自主事業活動費		50,000	50,000
					主催イベント			
	B	保険料	通年	49,000	1. ボランティア保険(年@350×140人)		49,000	49,000
	C	広報費	通年	511,000	1. 啓発・報告書等費		446,000	486,000
					HPリニューアル業務委託			
					広告料(新聞)		40,000	
D	事務局費	通年	85,000	1. 事務局運営費		46,000	84,500	
				事務消耗品費・振込手数料				
				活動成果報告書送料(@250×50人)				12,500
E	予備費		42,833	1. 予備費		42,833	42,833	
								0
支出予算額合計				740,833	支出積算額合計		740,333	
(収入の部)								
	区 分		実施予定	予算額	内 訳		金額:円	
本年度活動計画	A	負担金・会費	通年	1,125,000	会費		1,125,000	
					市負担金 1,000,000円			
	B	事業収入等	通年	50,000	1. 事業収入		50,000	0
					2. 雑収入			
					3. 助成金			
C	繰越金(仮)		697,833	1. 前年度繰越金		697,833	697,833	
収入予算額合計							1,872,833	

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	生ごみ削減・再生利用チーム				
理想の街 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが2050ゼロカーボンを目指し、生ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち</li> <li>・生ごみの大半がリサイクルされ有機循環システムの推進、可燃ごみが大幅に減少しているまち</li> <li>・地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組む地域循環型のまち</li> </ul>				
R5	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの堆肥化と再生利用を地域住民と県外の若年世代が一体になって取り組める方法を模索し実践する。</li> <li>・キッズ生ごみ農園クラブの会員増(目標値30名)を目指し、収穫祭などで生ごみと野菜の交換市を充実させる。堆肥製造量の目標値は、1000kgを目指す。また、出来た野菜の販売により自主財源率は予算の8%を目標値とする。一方で余った野菜は、子ども食堂や困窮学生等へ無償にて提供する。</li> <li>・長野市の生ごみ減量の数値目標としては、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を35.0%に削減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ減量活動の周知と市民への啓発に段ボール堆肥化に加え、ミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用し出前講座などを行う。</li> <li>・キッズ生ごみ農園では、家族会員を増やし生ごみの持参で堆肥を製造し、農作物栽培に活かす。収穫祭では、食と農の循環を実感してもらう。</li> <li>・首都圏の若年世代の家族を「こどものための夏休み農業体験」に募集し、キッズ生ごみ農園クラブの活動を広げる。</li> <li>・コロナ後の収穫野菜の展示販売など自主財源策に力を入れると共に、子供食堂や困窮学生に提供する。</li> </ul>			
R6	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの堆肥化と再生利用を地域住民と一体になって取り組める方法を模索し実践する。</li> <li>・キッズ生ごみ農園クラブの会員増を目指し、生ごみの減量と野菜栽培を定着して取り組めるように収穫祭や野菜と生ごみの交換市を充実させる。また、野菜と堆肥の販売により自主財源を確保する。</li> <li>・長野市の生ごみ減量の数値目標としては、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を34.8%を目指すよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キッズ生ごみ農園クラブ」の会員募集、生ごみと出来た野菜や生ごみ堆肥との交換を周知発展させる活動。</li> <li>・生ごみの減量、食品ロスの抑制、生ごみ堆肥化による生ごみ減量の啓もう活動の情報発信及びミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用して、幼児期からの環境教育にも取り組む。</li> <li>・キッズ生ごみ農園を活用し「子供のための夏休み農業体験」とミズコンポストを食農教育・環境教育に発展させる。</li> </ul>			
R7	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの堆肥化と再生利用を地域住民と一体になって取り組める方法を模索し実践する。</li> <li>・キッズ生ごみ農園クラブの会員増を目指し、生ごみの減量と野菜栽培を定着して取り組めるように収穫祭や野菜と生ごみの交換市を充実させる。また、野菜と堆肥の販売により自主財源を確保する。</li> <li>・数値目標は、長野市の可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を34.6%を目指すよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キッズ生ごみ農園クラブ」の会員募集、生ごみと出来た野菜や生ごみ堆肥の交換市を周知発展させる活動</li> <li>・「キッズ生ごみ農園クラブ」の活動を広げ、首都圏の若年世代の家族を対象に「子供のための農業体験」を実施する。</li> <li>・子供のための一坪農園とミズコンポストを食農教育として地域の活動として取り組めるようにする。また、ミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用して、幼児期からの環境教育にも取り組む。</li> </ul>			
数値目標 (長期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①長野市の可燃ごみ総量に占める生ごみの割合を、2030年までに食品ロスを除いて20%以内にする。</li> <li>②キッズ生ごみ農園クラブの家族会員数を2028年までに30家族にする。</li> <li>③長野市の生ごみ減量と食の循環モデルとして、キッズ生ごみ農園クラブの活動である食農教育の参加枠を、首都圏の若年世代家族にも広げる。</li> </ul>		令和5年度目標活動参加人数		
			600	人以上	
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体等への働きかけ</li> <li>・各地区自治協等の地縁団体を通じて地域住民への啓蒙活動と首都圏の若年家族の参加呼びかけ</li> <li>・生ごみ堆肥化講座と生ごみ堆肥で育てた花や野菜の展示と提供、及びプレゼンの実施</li> </ul>	6月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ2000部、資料作成等</li> <li>講座用テキスト作成・配布</li> <li>生ごみ堆肥の花と野菜の栽培コンテナ</li> <li>銀座長野アンテナショップでのプレゼンテーション実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50,000</li> <li>10,000</li> <li>8,000</li> <li>25,000</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民への啓発</li> <li>・展示、講習会(〇〇環境フェア・アモーレフェスタなど)で使用</li> <li>・大豆島地域の地縁団体への働きかけ</li> </ul>	7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示資料作成</li> <li>花や野菜のコンテナ栽培品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5,000</li> <li>7,000</li> <li>0</li> <li>0</li> </ul>	
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッズ生ごみ農園クラブ</li> <li>・家族会員(20家族目標)等を募集し一次生成物及び生ごみの受入れ</li> <li>・生ごみ堆肥の製造(堆肥場の整備とミズコンポストの分別)と農作物を作るための機材等</li> <li>・野菜の栽培</li> <li>・春・夏・秋に収穫祭の実施</li> <li>・麦ストロー作製のための資材</li> <li>・精麦・製粉</li> <li>・農機具に掛ける保険</li> <li>・地代</li> </ul>	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ資料作成等</li> <li>堆肥化基材(10袋)</li> <li>資材(支柱・木材・寒冷紗等)</li> <li>農機具・ハウス修繕</li> <li>種苗代</li> <li>保険代I(@350×50人)</li> <li>会場整備品</li> <li>洗剤・袋他</li> <li>ライ麦粉・もち麦の加工</li> <li>保険代II(農機具9台)</li> <li>轟さん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5,000</li> <li>6,500</li> <li>30,000</li> <li>100,000</li> <li>45,000</li> <li>17,500</li> <li>15,000</li> <li>2,000</li> <li>5,000</li> <li>9,000</li> <li>10,000</li> </ul>	
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>月例ミーティングと農作業打合せ</li> <li>・生ごみ削減・再生利用の市民への啓もう</li> <li>・地縁団体への生ごみ堆肥利用の推進</li> <li>・生ごみ堆肥作製の講習会の企画、運営</li> <li>・地域環境演習学生が生ごみ堆肥化とその利用実践</li> </ul>	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料代・印刷費</li> <li>学生への資料・基材等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10,000</li> <li>10,000</li> </ul>	
支出合計					395,000
区分	(収入の部)				
A	収穫祭の参加費500×20			収穫祭(野菜・軽食・保険代)	15,000
B	野菜の販売			直売	7,000
収入合計					22,000

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	市民の森づくりプロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち					
R5	目標・数値目標	行動計画				
	市民の森づくりに200人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様に富んだ活動を実施する。</li> <li>・活動再開に当たって、参加人数の増加も大切な事ではあるが本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。</li> </ul>				
R6	目標・数値目標	行動計画				
	市民の森づくりに300人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする 市民、他団体との連携を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様に富んだ活動を実施し、また活動の広がりも検討する。</li> <li>・地域住民との交流や他団体、個人、事業者との連携を検討する。</li> <li>・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。</li> </ul>				
R7	目標・数値目標	行動計画				
	市民の森づくりに300人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする 市民、他団体との連携を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様に富んだ活動を実施し、また活動の広がりも検討する。</li> <li>・地域住民との交流や他団体、個人、事業者との連携を検討する。</li> <li>・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。</li> </ul>				
数値目標 (長期)				令和5年度目標活動参加人数		
				200人以上		
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A	作業道、遊歩道、森林整備	4月～12月	消耗品費(チェーンソー替刃、刈払機の替刃等)	30,000	
				燃料費(チェーンソーのガソリン、オイル等)	20,000	
				ユニック車他レンタル料金	20,000	
				整備機材(チェーンソー等)	60,000	
				材料費(ロープ、杭等)	20,000	
	B	きのこの駒打ち	4月	きのこの種駒等	20,000	
	C	工作・自然観察	6月～10月	工作用材料(ボンド、マジック、金具等)	10,000	
	D	傷害・賠償保険料(会員)	年間	保険料	50,000	
	E	会議用資料代	年間	コピー、印刷費等	20,000	
	支出合計					250,000
		区分	(収入の部)			
収入合計					0	

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	松代オオムラサキの里				
理想の街 (目指す姿)	身近な自然環境を守り後世に残すため、里山の小生物(オオムラサキ・カブトムシ・クワガタ)などの生育環境を再生し松代に自生するエドヒガン・野生モモが咲く豊かな自然環境の保全を目指す。オオムラサキを含めジャコウアゲハ・アゲハチョウ・キアゲハ・アサギマダラなどが自然に舞う環境の構築に努め啓発活動を進める。				
R5	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。</li> <li>市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。</li> <li>小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。</li> </ul>		小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
R6	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。</li> <li>市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。</li> <li>小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。</li> </ul>		小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
R7	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。</li> <li>市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。</li> <li>小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。</li> </ul>		小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
数値目標 (長期)	竹ノ入を中心とした学習林を軸に長野市の豊かな自然環境の保全を市民が共有できる環境思想の向上を図る。 オオムラサキの保全を通して、多くの人が環境問題に関心を持つように活動を推進する。			令和5年度目標活動参加人数	
				500人以上	
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	チェーンソーに使用	5月～翌年6月	チェーンソーの刃 2枚	10,000
		チェーンソーに使用		チェーンソー、刈払機 オイル	30,000
		竹ノ入整備作業に使用		刈払機の刃 10枚	35,000
		小生物保護活動に使用		オオムラサキ・小生物飼料	5,000
	B	フジバカマ・ウマノスズクサ育苗		肥料(化成肥料) 5袋	5,000
		カブトムシ・クワガタ飼育に使用		飼育道具、飼料	30,000
		オオムラサキ飼育舎に使用		防虫ネット	30,000
		オオムラサキ冊子の増刷		印刷代	30,000
		データ保存に使用		外付けHDD	15,000
		センサーカメラに使用		乾電池	4,000
		竹ノ入整備作業に使用		重機レンタル代	60,000
		「フジバカマ」育苗・植樹に使用		培養土40ℓ入30袋	15,000
	C	チェーンソー及び刈払機に使用	燃料(ガソリン・混合油)	40,000	
		フジバカマ・ウイキョウ植栽地借地料	借地料(西澤宅)	10,000	
	D	共通事項(事務費等)	5月～翌年6月	葉書代	30,000
		総会資料印刷代 他		インク・コピー用紙等	35,000
		作業時飲料水、飴代		作業時飲料水、飴代	10,000
	D	総会・役員会の会場費	5月～翌年6月	会場費	10,000
		観察会に使用するマイクセット		マイクセット	15,000
		理事会・その他イベント参加の交通費		交通費	10,000
支出合計					429,000
区分	(収入の部)				
A					
B					
収入合計					0

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)					
理想の街 (目指す姿)	自然豊かにして清らかな川は、大気土壌と動的平衡を保ち生物の多様性に満ちたまち					
R5	目標・数値目標		行動計画			
	①生態系豊かで水に親しめる川づくりの活動に向けた行動の実現 ②ながの環境パートナーシップ他の団体への参加		①生態系豊かな水に親しめる川づくり実施地調査 ②長野市主催の環境学習会水生生物調査「夏の川遊びへの協力			
R6	目標・数値目標		行動計画			
R7	目標・数値目標		行動計画			
数値目標 (長期)				令和5年度目標活動参加人数		
				人以上		
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A					
	B					
	C					
	D					
	支出合計					0
	区分	(収入の部)				
A						
B						
収入合計					0	

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	「元気なふるさと浅川を創生する」を目標に、浅川地区での地域資源の見直しと地域住民の意識の高揚を図り、地域活動への参画意欲を高めるため、浅川地区まちづくり計画を策定し、現在、各種事業を展開している。その事業の一環として地区内に生息が確認されている県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の保護・育成活動を地域住民と協働で実施し、「ふるさとの魅力を自然の豊かさで体験できる環境整備」の推進を図っていく。また、ゴマシジミ情報をより広く発信していきたい。					
R5	目標・数値目標		行動計画			
	行事 4件 ・ 参加人数 70人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動			
R6	目標・数値目標		行動計画			
	行事 5件 ・ 参加人数 80人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動 3. 地区住民へのゴマシジミ生息のアナウンス			
R7	目標・数値目標		行動計画			
	行事 6件 ・ 参加人数 90人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動 3. 地区住民へのゴマシジミ生息のアナウンス			
数値目標 (長期)	現地訪問者の見学会を考える。(来場者100人以上)			令和5年度目標活動参加人数		
				70 人以上		
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A	ワレモコウ育成		道具、肥料等	10,000	
	B					
	C					
	D					
支出合計					10,000	
区分	(収入の部)					
A						
B						
収入合計					0	

◎令和5年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	田中桜公園作り&里山づくりプロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合あう地域・まち				
R5	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標200名〔前期〕①草刈り②東屋づくりの推進計画立案検討③秋の公園祭りの計画④竹林の伐採推進⑤桜公園も含めての里山らしい里山づくり構想協議会開催		①月1度を最低に草刈り活動②東家づくり検討会の実現③秋の公園祭り〔作業含む〕の推進実現④竹林の伐採推進⑤里山らしい里山づくり構想協議会の実施から構想を練り上げる。その為にも、県の林務部に出前講座をお願いして学習も深める。		
R6	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標250名 (前期)①散策路整備橋＝造り4年計画 ②竹林の伐採③花壇の充実④R5年度東屋建設計画推進・資金申請(後期)⑤桜公園拡大計画検討⑥桜公園祭りの実施⑦水道道沿いの里山利用調査検討⑧草刈り		①散策路整備 沢を渡るちよつとした橋造りなど②竹林の伐採を進める③四季折々に楽しめる花壇・花木の計画作成と苗の購入④東屋づくりの計画＝設計図を作り、材料および資金の計画を立て、資金計画を立てるなど、着工準備活動をすすめる。⑤桜公園拡大4年計画の1年目桜植樹計画作成⑥桜公園祭りの実施。⑦水道道沿い里山のあり方検討⑧草刈り		
R7	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標300名 (前期)東屋の棟上げ・花壇の充実と案内板設置計画、竹林の伐採推進、草刈り (後期)桜祭りの準備と実施		5月から8月 東屋づくりに取りかかる”一部の大人だけの作業となる。安全に配慮しながら子供たちのできる活動を考え出し、みんなが参加し作った充実感を生み出す。また、竹の伐採・以前伐採終了場所では抜根作業継続。10月から4月 散策路の拡充・花壇の拡充に取り組む。桜祭りで東屋披露式 ベンチ設置、用水路改修。広場の岩垂草の手入れ、草刈り、桜公園祭りの準備と実行		
数値目標 (長期)	延べ参加者累計1000人			令和5年度目標活動参加人数	
				200人以上	
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
	A	桜公園春・秋祭り関係費(清涼飲料水、紙コップ等、カセットコンロ用ボンベ)	10月4月	関係必要資材購入	10,000
	B	竹林の伐採費、草刈り費用(燃料費、替え刃)		ピーパー替え刃、ピーパー用燃料費用、	5,000
	C	事務通信費(コピー費印刷費切手代印紙)		コピー紙、インク代、切手代等	5,000
D					
支出合計				20,000	
区分	(収入の部)				
A					
B					
収入合計				0	



令和5年度 ながの環境パートナーシップ会議 予算書(案)

収入

単位:円

項 目	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5予算額－ R4予算額	説 明
I 負担金・会費	1,080,000	1,191,500	1,125,000	45,000	
1 負担金・会費	1,080,000	1,191,500	1,125,000	45,000	市負担金(1,000千円)、会費
II 事業収入等	95,000	97,409	50,000	△ 45,000	
1 事業収入	45,000	45,000	0	△ 45,000	会員制度変更によるバナー広告制度の廃止
2 雑収入	50,000	52,409	50,000	0	
3 助成金	0	0	0	0	
III 繰越金	752,154	752,154	697,833	△ 54,321	
1 繰越金	752,154	752,154	697,833	△ 54,321	前年度繰越金(仮)
合 計	1,927,154	2,041,063	1,872,833	△ 54,321	

支出

単位:円

項 目	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5予算額－ R4予算額	増 減 理 由
I 活動費	75,000	3,000	63,000	△ 12,000	
1 自主事業活動費	60,000	0	60,000	0	主催イベント
2 共催・参加事業活動費	15,000	3,000	3,000	△ 12,000	長野エコ活動推進本部、地域まるごとキャンパス他
II プロジェクト活動費	1,079,000	1,210,623	1,132,000	53,000	
1 生ごみ削減・再生利用	359,000	359,000	373,000	14,000	
2 市民の森づくり	250,000	249,654	250,000	0	
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	
4 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	
5 松代オオムラサキの里	370,000	593,485	429,000	59,000	
6 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	30,000	0	0	△ 30,000	
7 ゴマシジミ保護・育成	0	0	10,000	10,000	
8 田中さくら公園作り&里山づくり	20,000	8,484	20,000	0	
9 新規プロジェクト	50,000	0	50,000	0	
III 保険料	49,000	40,250	49,000	0	
1 保険料	49,000	40,250	49,000	0	ボランティア活動保険料(350円×140)
IV 広報費	325,000	41,636	511,000	186,000	
1 啓発・報告書等費	300,000	33,030	486,000	186,000	HPリニューアル業務委託(446,000円)、新聞広告料(40,000円)
2 ホームページ維持費	25,000	8,606	25,000	0	レンタルサーバ、ドメイン使用料、HP維持費
V 事務局費	85,000	47,721	85,000	0	
1 事務局運営費	85,000	47,721	85,000	0	事務消耗品、振込手数料、郵送料、理事会グループウェア導入費用(17,000円)
VI 予備費	314,154	0	32,833	△ 281,321	
1 予備費	314,154	0	32,833	△ 281,321	
2 助成金	0	0	0	0	
合 計	1,927,154	1,343,230	1,872,833	△ 54,321	

ながの環境パートナーシップ会議会則（案）

平成21年6月25日  
改正 平成21年10月17日  
一部改正 平成22年6月5日  
一部改正 平成23年6月4日  
一部改正 平成24年6月10日  
一部改正 平成30年6月17日  
一部改正 令和2年8月6日  
一部改正 令和5年6月29日

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は、ながの環境パートナーシップ会議と称する。

（事務所）

第2条 本会の事務所は、長野市環境部環境保全温暖化対策課内に置く。

第2章 目的及び事業

（目的）

第3条 本会は、長野市域における環境を保全するためのネットワークを築くとともに、地球規模の環境問題へ視野を広げ、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

（事業）

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「アジェンダ21ながの一環境行動計画」の推進
- (2) 環境保全に関する普及啓発
- (3) 環境保全活動を行う団体等の支援
- (4) 環境の保全と創造に関する提言
- (5) 会員が行う活動の紹介
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 法人会員にあっては、当該法人の社会的責任（CSR）に基づき行われる環境保全に関する活動を本事業とみなすことができる。行政機関にあっては、当該機関の環境保全に資する事業を本事業とみなすことができる。

第3章 会員

（会員）

第5条 本会は、目的に賛同する市民、法人、団体並びに行政機関をもって構成する。

2 会員は、正会員及び本会の活動を支援する賛助会員とする。

（入会）

第6条 本会の会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を代表理事に提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 理事会は、本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為のおそれがある場合には、入会を拒むことができる。

(会費)

第7条 会員は、会費を納入しなければならない。

2 会費は年会費とし、その金額は理事会でこれを定める。

3 次の者は、会費の納入を免除する。

(1) 15歳以下の者

(2) 学生（学校教育法第1条に基づく学校に通学している者）

4 既納の会費は、返還しない。

(退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

(1) この会則その他この会則に基づく規程に違反したとき。

(2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第7条の支払義務を別途定める納入時期に履行しなかったとき。

(2) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 役員

(役員を設置)

第11条 本会に、次の役員を置く。

(1) 理事 5人以上10人以内

(2) 監事 2人以内

2 理事のうち1人を代表理事とする。

3 代表理事以外の理事のうち2人を副代表理事とする。

(役員を選任)

第12条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、理事のうちの1人は、長野市環境部長の職にある者をもってあてる。

2 代表理事及び副代表理事は、理事の互選とする。

(理事の職務及び権限)

第13条 理事は、理事会を構成し、この会則の定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、この会則の定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行する。

3 副代表理事は、代表理事を補佐し、代表理事に事故あるときは、その職務を代行する。

(監事の職務及び権限)

第14条 監事は、理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、幹事に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第15条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第11条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第16条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(顧問)

第17条 本会に、任意の機関として、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 代表理事の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について意見を述べること。

3 顧問の選任は、理事会において決議する。

4 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない

## 第5章 総会

(種別)

第18条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第19条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第20条 総会は、次の事項について決議する。

(1) 会則の変更

(2) 理事及び監事の選任又は解任

(3) 会員の除名

(4) 事業計画及び収支予算

(5) 事業報告及び収支決算

(6) 解散及び残余財産の処分

(7) その他本会に関する重要な事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。

(2) 総会員の10分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(招集)

第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

2 代表理事は、前条第2項各号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁記録をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

(議決権)

第24条 総会における議決権は、正会員1人につき1個とする。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(決議)

第26条 総会の議事は、この会則に別に規定するもののほか、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。この場合において、議長は、正会員として議決に加わる権利を有しない。

(書面主義)

第27条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

2 災害等の緊急事態において、代表理事が必要と認め理事会が承認したときには、あらかじめ通知された事項について、正会員の過半数が書面をもって表決することで、総会が開催されたこととみなすことができる。

(議事録)

第28条 総会の議事については、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事のうち1人以上は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 理事会

(構成)

第29条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 代表理事及び副代表理事の選定及び解職
- (3) その他本会の運営に関し必要な事項

(招集)

第31条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 代表理事が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議をのべたときは、その限りでない。

(会議記録)

第33条 理事会の議事については、確認事項等を記載した会議記録を作成する。

#### 第7章 プロジェクトチーム等

(プロジェクトチーム)

第34条 第4条に規定する事業を推進するため、プロジェクトチームを置くことができる。

2 プロジェクトチームは、希望する正会員をもって構成する。

3 プロジェクトチームは、総会で承認された当該プロジェクト推進のための予算、その他をもって、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。

(プロジェクト実施会議)

第35条 第4条に定める事業を推進するため必要と認められる場合、プロジェクト実施会議を開催することができる。

2 プロジェクト実施会議は、プロジェクトチーム、長野市関係課、顧問等事業の推進に必要な者及び事務局又は理事をもって構成する。

#### 第8章 事務局

(設置等)

第36条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び職員は、代表理事が任命する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の承認を経て、代表理事が別に定める。

#### 第9章 資産及び会計

(資産の構成)

第37条 本会の資産は、次に掲げる事項をもって構成する。

(1) 会費

(2) 寄付金品

(3) 事業に伴う収入

(4) 資産から生ずる収入

(5) その他の収入

(資産の管理)

第38条 資産は、代表理事が管理し、その方法は、理事会の決議を経て代表理事が別に定める。

(経費の支弁)

第39条 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(事業年度)

第40条 本会の事業年度は、毎年6月1日に始まり翌年の5月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第41条 本会の事業計画及び収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、当該事業年度が終了するまでの間、事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(暫定予算)

第42条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、理事会の決議を経て、予算の成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第43条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を経て、通常総会に報告しなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 収支決算書
- (4) 収支決算書の附属明細書
- (5) 財産目録

第10章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第44条 この会則は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第45条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(財産の贈与)

第46条 本会が解散する場合には、総会の決議を経て、財産残額に相当する額の財産を、地方公共団体に贈与するものとする。

第11章 公告の方法

(公告の方法)

第47条 本会の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成21年10月17日から施行する。

(経過措置)

- 2 最初の総会は、ながの環境パートナーシップ会議会則（平成13年5月8日制定。以下「旧会則」という。）第4条第1項各号に規定する者が招集することができる。
- 3 この会則の施行の日前に旧会則の規定に基づく会員であったものは、第6条の規定に関わらず、本会の会員とする。
- 4 本会の会費は、平成22年5月31日までの間は、第7条第1項の規定にかかわらず、納入を要しない。

(役員の特例)

- 5 最初の総会で選任される幹事及び監事の任期は、第15条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成22年に開催される通常総会の終結の時までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月17日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年6月5日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年6月4日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年6月10日から施行する。

附 則

この会則は、平成30年6月17日から施行する。

附 則

この会則は、令和2年8月6日から施行する。

附 則

この会則は、令和5年6月29日から施行する。



ながの環境パートナーシップ会議会費規程（案）

平成22年1月27日

一部改正 平成24年6月10日

一部改正 令和元年5月18日

一部改正 令和5年6月29日

（趣旨）

第1条 この規程は、ながの環境パートナーシップ会議会則（以下「会則」という。）第7条に定める会費に関し必要な事項を定めるものとする。

（会員区分、会費の額）

第2条 本会の会員区分ならびに会員が一事業年度に納入すべき会費の額は、別表のとおりとする。

2 会員は別表の額を支払うものとする。ただし、定める額以上の納入は妨げない。

（納入時期）

第3条 会費は、毎年度2月末日までに納入するものとする。

2 会員が年度途中で入会した場合は、会則第6条に規定する承認のあった日から30日以内に納入するものとする。

（納入方法）

第4条 会費は、年額を一括して納めるものとする。

2 会費は、事務局に現金を持参し、または銀行振込により納入するものとする。

3 会費は、会則第34条に定めるプロジェクトチームのリーダーが、当該プロジェクトチームに属する会員の会費をとりまとめ納入することができる。

4 銀行振込により納入する場合に必要な手数料等の費用は、振込名義人が負担しなければならない。

（補則）

第5条 この規程に定めるもののほか会費に関し必要な事項は、代表理事が別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月27日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月10日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年6月16日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年6月29日から施行する。

## 別表（第2条関係）

会員区分	会費の額
正会員	500 円
正会員（会則第7条第3項に定める者）	無料
賛助会員（ブロンズランク）	1,000 円
賛助会員（シルバーランク）	10,000 円
賛助会員（ゴールドランク）	50,000 円

ながの環境パートナーシップ会議会則 新旧対照表

改正後	改正前
<p>○ながの環境パートナーシップ会議会則</p> <p>平成21年6月25日</p> <p>(事業)</p> <p>第4条 略</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>(5) <u>会員が行う活動の紹介</u></p> <p>(6) <u>その他前条の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>2. <u>法人会員にあつては、当該法人の社会的責任(CSR)に基づき行われる環境保全に関する活動を本事業とみなすことができる。行政機関にあつては、当該機関の環境保全に資する事業を本事業とみなすことができる。</u></p> <p>(会員)</p> <p>第5条 <u>本会は、目的に賛同する市民、法人、団体並びに行政機関をもって構成する。</u></p> <p>2 略</p> <p>(入会)</p> <p>第6条 略</p> <p>2. <u>理事会は、本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為のおそれがある場合には、入会を拒むことができる。</u></p> <p>(会費)</p> <p>第7条 略</p> <p>2 略</p> <p>3. <u>次の者は、会費の納入を免除する。</u></p> <p>(1) <u>15歳以下の者</u></p> <p>(2) <u>学生(学校教育法第1条に基づく学校に通学している者)</u></p> <p>4. <u>既納の会費は、返還しない。</u></p>	<p>○ながの環境パートナーシップ会議会則</p> <p>平成21年6月25日</p> <p>(事業)</p> <p>第4条 略</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>(5) <u>その他前条の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p><u>[新設]</u></p> <p>(会員)</p> <p>第5条 <u>本会は、目的に賛同する市民及び団体並びに行政機関をもって構成する。</u></p> <p>2 略</p> <p>(入会)</p> <p>第6条 略</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>(会費)</p> <p>第7条 略</p> <p>2 略</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>3. <u>既納の会費は、返還しない。</u></p>

改正後	改正前
<p>(会員資格の喪失) 第10条 略</p> <p>(1) 第7条の支払義務を別途定める納入時期に履行しなかったとき。</p> <p>(2) 略</p> <p>(プロジェクトチーム)</p> <p>第34条 略</p> <p>2 プロジェクトチームは、希望する正会員をもって構成する。</p> <p>3 プロジェクトチームは、総会で承認された当該プロジェクト推進のための予算、その他をもって、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。</p>	<p>(会員資格の喪失) 第10条 略</p> <p>(1) 第7条の支払義務を2年以上の期間にわたり履行しなかったとき。</p> <p>(2) 略</p> <p>(プロジェクトチーム)</p> <p>第34条 略</p> <p>2 プロジェクトチームは、希望する会員をもって構成する。</p> <p>3 プロジェクトチームは、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。</p>

ながの環境パートナーシップ会議会費規程 新旧対照表

改正後	改正前												
<p>○ながの環境パートナーシップ会議会費規程</p> <p>平成22年1月27日</p> <p>(会員区分、会費の額)</p> <p>第2条 本会の会員区分ならびに会員が一事業年度に納入すべき会費の額は、別表のとおりとする。</p> <p>2 会員は別表の額を支払うものとする。ただし、定める額以上の納入は妨げない。</p> <p>(納入時期)</p> <p>第3条 会費は、毎年度2月末日までに納入するものとする</p> <p>2 略</p> <p>別表 (第2条関係)</p> <table border="1" data-bbox="890 1384 1118 2116"> <thead> <tr> <th>会員区分</th> <th>会費の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>正会員 (会則第7条第3項に定める者)</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>賛助会員 (ブロンズランク)</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員 (シルバードランク)</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員 (ゴールドランク)</td> <td>50,000円</td> </tr> </tbody> </table>	会員区分	会費の額	正会員	500円	正会員 (会則第7条第3項に定める者)	無料	賛助会員 (ブロンズランク)	1,000円	賛助会員 (シルバードランク)	10,000円	賛助会員 (ゴールドランク)	50,000円	<p>○ながの環境パートナーシップ会議会費規程</p> <p>平成22年1月27日</p> <p>(会費の額)</p> <p>第2条 会員が一事業年度に納入すべき会費の額は、入会の時期にかかわらず、一口500円とする。</p> <p>2 会員は一口以上で任意の額を支払うものとする。</p> <p>(納入時期)</p> <p>第3条 会費は、毎年8月末日までに納入するものとする。</p> <p>2 略</p> <p>[新設]</p>
会員区分	会費の額												
正会員	500円												
正会員 (会則第7条第3項に定める者)	無料												
賛助会員 (ブロンズランク)	1,000円												
賛助会員 (シルバードランク)	10,000円												
賛助会員 (ゴールドランク)	50,000円												